



東亞合成株式会社

2018年12月期 決算説明会資料

2019年2月15日

連結の範囲

連結子会社数 : 21社 (前期比1社増 2018年7月 アロンカセイ・タイランド設立)

持分法適用会社数 : 2社 (変更なし)

	2017年	2018年	増 減	
売上高 (百万円)	144,708	150,066	5,358	3.7%
営業利益 (百万円)	17,453	16,408	△1,044	△6.0%
営業利益率	12.1%	10.9%	△1.2%	—
経常利益 (百万円)	18,492	17,403	△1,089	△5.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	12,911	12,748	△162	△1.3%
1株当たり当期純利益 (円)	98.08	96.85	△1.23	—
配当 (年間) (円)	26.0	28.0	2.0	—

<事業環境>

- ・ 日本経済は、緩やかな回復が続くも景気の伸びは力強さを欠く展開
- ・ 世界経済は、米中貿易戦争の拡大などから先行きの不透明感が増大
- ・ 原油価格は、上昇基調が一転し 第4四半期に急落

<2018年決算概況>

1. カセイソーダの価格是正や高純度無機化学品の増販は増益要因となるも、アクリルモノマー、アクリル川下製品、管工機材製品の採算悪化や機能性接着剤減販の影響などから増収減益決算
2. 国内外で行った新・増設設備は、順次、稼働を開始

**高付加価値化と海外展開強化は着実に進展
投資案件の収益貢献は次期以降に**

連結業績（部門別）

売上高（連結部門別）

（百万円）

	2017年	2018年	売上増減		
			数量差	単価差	増減額
基幹化学品	66,630	69,908	△1,870	5,148	3,278
ポリマー・オリゴマー	28,096	29,506	1,184	225	1,409
接着材料	12,010	11,914	△66	△30	△96
高機能無機材料	7,791	8,095	317	△14	303
樹脂加工製品	26,828	27,167	300	38	338
その他	3,350	3,474	124	0	124
合計	144,708	150,066	△9	5,367	5,358

営業利益（連結部門別）

（百万円）

	2017年		2018年		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基幹化学品	5,795	8.7%	6,654	9.5%	859
ポリマー・オリゴマー	4,429	15.8%	2,977	10.1%	△1,452
接着材料	2,659	22.1%	2,567	21.5%	△92
高機能無機材料	2,397	30.8%	2,548	31.5%	151
樹脂加工製品	1,946	7.3%	1,427	5.3%	△519
その他・調整額	224	—	233	—	9
合計	17,453	12.1%	16,408	10.9%	△1,044

【営業外損益】

(百万円)

	2017年	2018年	増 減
受取利息・配当金	818	868	50
持分法による投資利益	338	165	△173
固定資産賃貸料	134	237	103
雑 収 入	180	215	35
為 替 差 損	△38	△100	△62
支 払 利 息	△96	△90	6
環 境 整 備 費	△154	△135	19
遊 休 設 備 費	△68	△62	6
雑 支 出	△75	△103	△28
合 計	1,039	995	△44

・持分法利益

(百万円)

	2017年	2018年	差 異
イルマーズ・トウアコウセイ	314	177	△137
中 部 液 酸	24	△12	△36
合 計	338	165	△173

【特別損益】

(百万円)

	2017年	2018年	増 減
固定資産売却益	369	5	△364
投資有価証券売却益	446	3	△443
補 助 金 収 入	37	325	288
固定資産処分損	△444	△240	204
減損損失・関係会社 株式売却損	△205	△5	200
合 計	203	89	△114

・補助金収入

2018年 省エネ投資促進補助金

・為替レート

(円/US\$)

2017年12月末	2018年6月末	2018年12月末
113.00	110.54	111.00

連結貸借対照表

(百万円)

	2017.12	2018.12	増 減
現 預 金	29,636	32,676	3,040
売 掛 債 権	42,583	45,154	2,571
有 価 証 券	47,000	46,000	△1,000
棚 卸 資 産	16,005	16,541	536
そ の 他 流 動 資 産	2,048	2,338	290
固 定 資 産	63,168	67,723	4,555
投 資 有 価 証 券 ①	35,238	27,792	△7,446
そ の 他 固 定 資 産	3,657	3,747	90
資 産 合 計	239,338	241,971	2,633
支 払 債 務	15,149	16,472	1,323
借 入 債 務	12,150	11,692	△458
未 払 法 人 税 等	2,124	2,864	740
そ の 他 負 債 合 計 ②	22,426	19,647	△2,779
負 債 合 計	51,850	50,675	△1,175
純 資 産 合 計 ③	187,487	191,296	3,809
負 債・純 資 産 合 計	239,338	241,971	△2,633

【貸借対照表】

- ①株式市況の悪化により投資有価証券の時価評価額が減少
- ②保有株式評価額減少で繰延税金負債が減少
- ③利益剰余金 9,194百万円増加

キャッシュフローの状況

(百万円)

	2017年	2018年	増 減
営業 C F	15,166	19,841	4,675
投資 C F	△23,186	△11,910	11,276
F C F	△8,020	7,931	15,951

連結会社概況（当期実績）

（百万円）

会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
			2017年	2018年	2017年	2018年	2017年	2018年
1 東亜テクノガス	基幹化学品	100	4,672	4,940	542	634	386	449
2 (大分ケミカル)	↓	91.15	12,435	14,784	△3	27	△60	△64
3 トウアコウセイ・シンガポール	↓	100	7,142	5,036	222	△170	276	△96
4 (MTエチレンカーボネート)	↓	90	504	586	4	6	△42	5
5 MTアクアポリマー	ポリマー・オリゴマー	51	10,018	10,640	828	480	578	342
6 台湾東亜合成	↓	100	1,074	1,116	103	62	85	46
7 東昌化学	↓	51	1,305	1,773	37	53	27	57
8 張家港東亜迪愛生化学	↓	76.12	1,659	1,716	121	114	103	91
9 トウアコウセイ・タイランド	↓	100	-	0	△80	△247	△81	△285
10 トウアコウセイ・アメリカ	接着材料	100	2,083	1,855	202	141	438	118
11 (アロン包装)	↓	100	269	277	7	16	4	11
12 東亜合成香港	↓	100	343	317	47	32	133	79
13 東亜合成珠海	↓	100	421	435	88	105	56	77
14 アロン化成	樹脂加工	100	26,848	27,190	1,947	1,448	1,380	1,061
15 アロンセイ・タイランド	↓	100	-	-	-	△11	-	△11
16 東亜興業	その他	100	1,010	991	6	△2	7	2
17 東亜ビジネスアソシエ	↓	100	1,086	1,950	53	106	31	67
18 TGコーポレーション	↓	100	12,499	12,278	378	351	259	239
19 (東亜物流)	↓	100	5,087	1,448	19	8	12	21
20 (四国東亜物流)	↓	70	1,193	1,276	12	5	9	4
21 (北陸東亜物流)	↓	90	238	152	1	0	1	0
単純合計			89,886	88,760	4,534	3,158	3,602	2,213

()の会社は、ほぼ全量が当社との取引

保護貿易主義の拡大、英国のEU離脱問題など
外部環境の変調が世界経済の波乱要因に



高水準の設備投資と業務変革による生産性向上は継続

**創立75周年を機に企業理念の改定を行い、
次期中計に向け経営基盤を強化**

<対外発表>

- 2018年11月19日** ・社外取締役増員と東亜合成グループ°企業理念改定
- 2018年12月19日** ・東亜合成グループ°コーポレートガバナンス
基本方針の一部改定
- 2019年 2月13日** ・買収防衛策の非継続（廃止）
・定款の一部変更

(百万円)

	2018年間実績 (A)	2019上期予想	2019下期予想	2019年間予想 (B)	増減 (B-A)
売上高	150,066	73,000	77,000	150,000	△66
営業利益	16,408	7,700	8,800	16,500	92
営業利益率	10.9%	10.5%	11.4%	11.0%	0.1%
営業外損益	994	600	500	1,100	106
経常利益	17,403	8,300	9,300	17,600	197
特別損益	88	△100	△200	△300	△388
税前利益 (a)	17,491	8,200	9,100	17,300	△191
法人税等及び同調整額 (b)	4,532	2,400	2,700	5,100	△568
税負担率 (b)/(a)	25.9%			29.5%	3.6%
非支配株主に帰属する当期 (または半期)純利益	210	100	200	300	90
親会社株主に帰属する当期 (または半期)純利益	12,748	5,700	6,200	11,900	△848
配当 (円)	28.00	15.00	15.00	30.00	2.00
< 参 考 >					
為替レート (期中平均) (円/US\$)	¥110.49			¥113.00	
ナフサ価格 (円/kl)	¥51,075			¥39,000	

(注) ナフサ : k l 当たり1千円の変動で±300百万円。為替 : 1円/USDの円安で△60百万円。

売上高

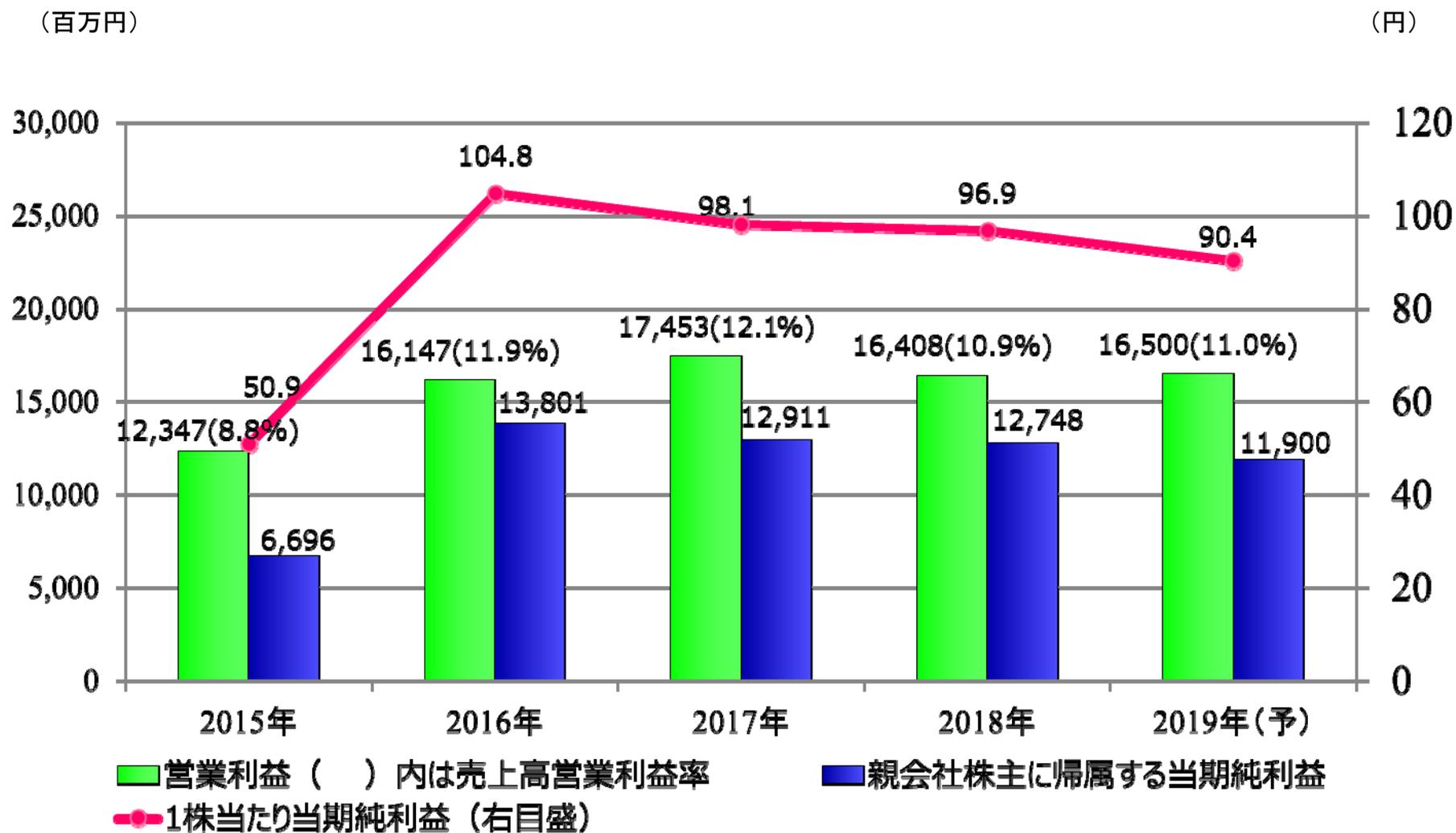
（百万円）

	2018実績	2019予想	増 減	増減要因
基 幹 化 学 品	69,908	66,100	△3,808	[減収]化イ-ダ、アクリルモノ、工業用ガス
ポリマー・オリゴマー	29,506	30,800	1,294	[増収]アクリルモノ、凝集剤、オリゴマー
接 着 材 料	11,914	12,800	886	[増収]機能性接着剤、瞬間接着剤
高機能無機材料	8,095	8,800	705	[増収]高純度無機化学品、無機機能材料
樹脂加工製品	27,167	28,000	833	[増収]管工機材、プラスチックコンパ-ント
そ の 他	3,474	3,500	26	
合 計	150,066	150,000	△66	

営業利益

（）内は営業利益率（百万円）

	2018実績		2019予想		増 減	増減要因
基 幹 化 学 品	6,654	(9.5%)	5,800	(8.8%)	△854	[減益]化イ-ダ、アクリルモノ、工業用ガス、
ポリマー・オリゴマー	2,977	(10.1%)	3,400	(11.0%)	423	[増益]アクリルモノ、凝集剤、オリゴマー
接 着 材 料	2,567	(21.5%)	2,500	(19.5%)	△67	[減益]機能性接着剤
高機能無機材料	2,548	(31.5%)	2,700	(30.7%)	152	[増益]高純度無機化学品、無機機能材料
樹脂加工製品	1,427	(5.3%)	1,900	(6.8%)	473	[増益]管工機材、建材・土木製品
そ の 他	233	-	200	-	△33	
合 計	16,408	(10.9%)	16,500	(11.0%)	92	

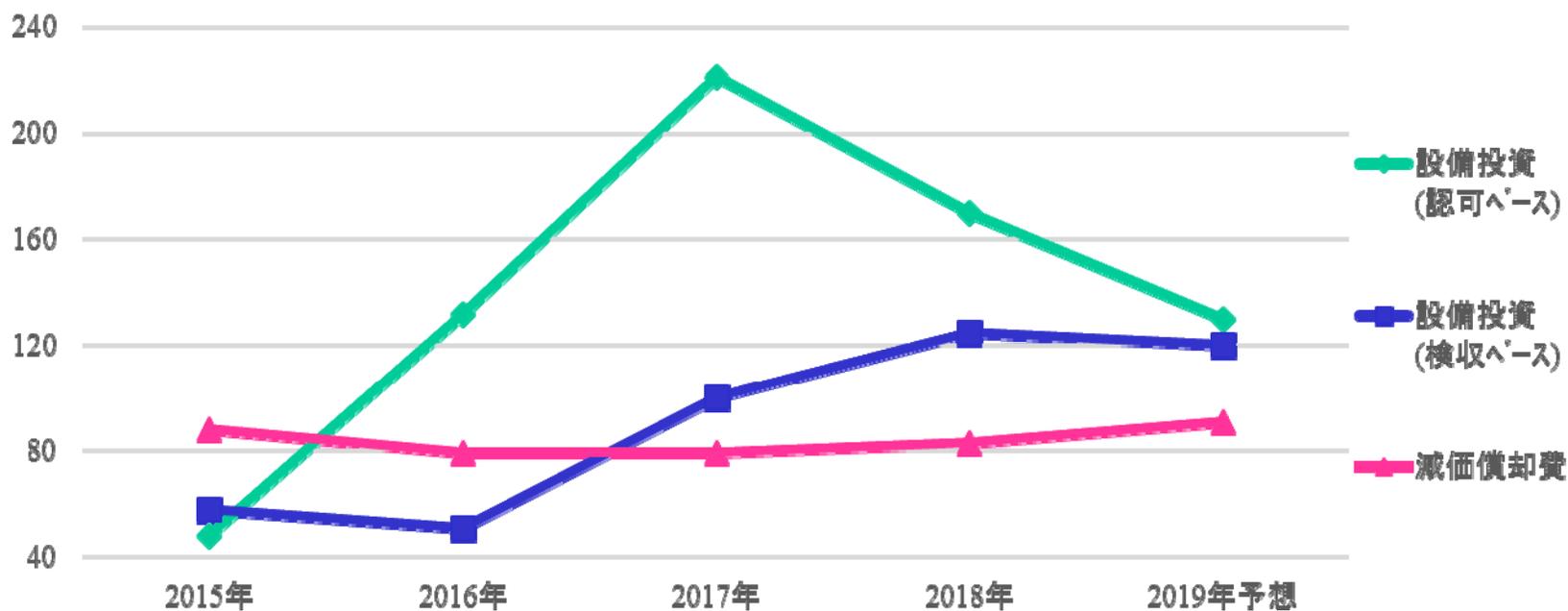


※当社は2015年7月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合とする株式併合を実施しています。これに伴い1株当たり当期純利益は、各連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しています。

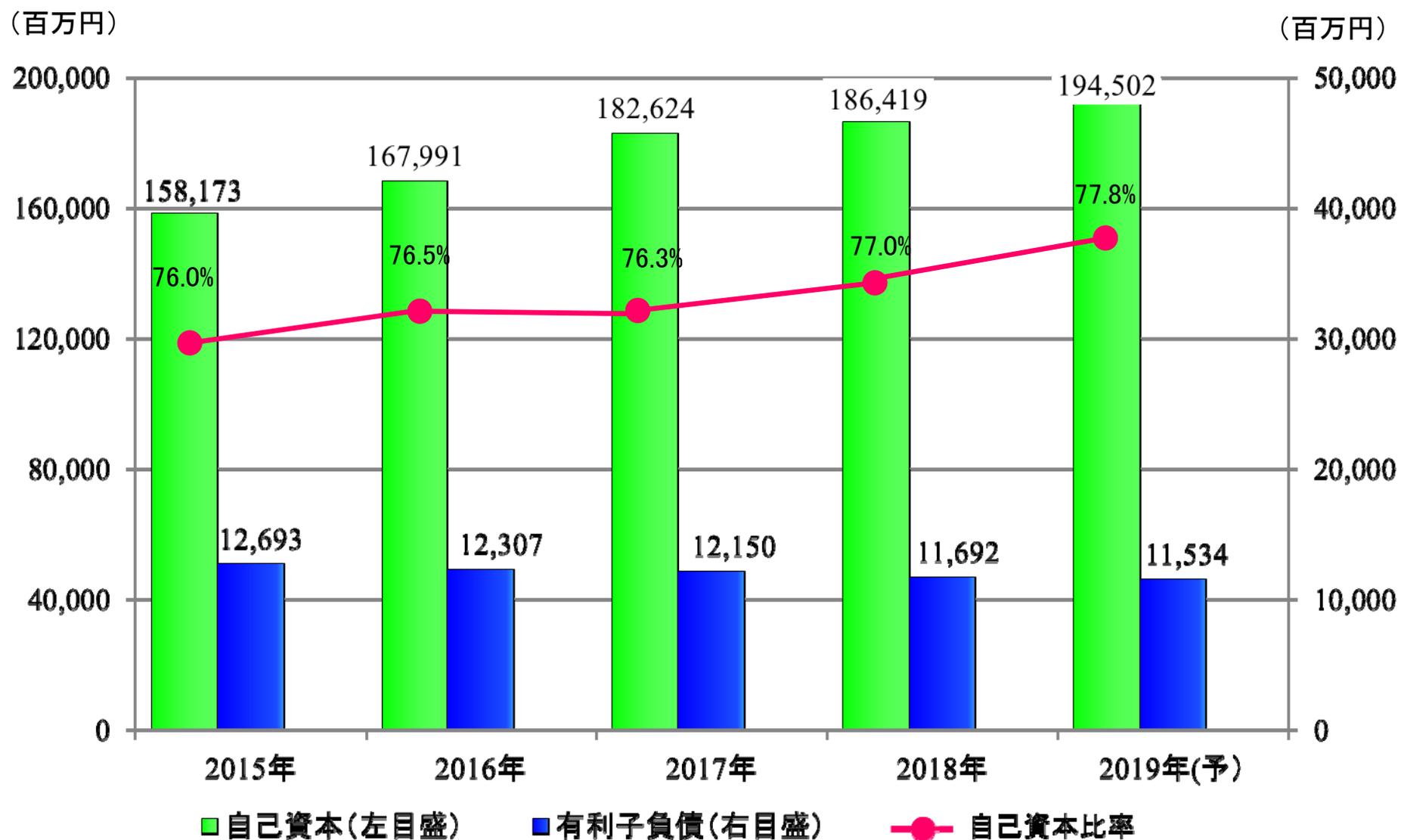
(億円)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年予想
設備投資 (検収ベース)	58	51	100	125	120
設備投資 (認可ベース)	48	132	221	170	130
減価償却費	88	79	79	83	91
試験研究費	37	36	37	36	37
海外売上高	231	216	242	245	245
有利子負債	126	123	121	116	115

(億円)



連結経営参考数値の推移



連結会社概況（2019年予想）

（百万円）

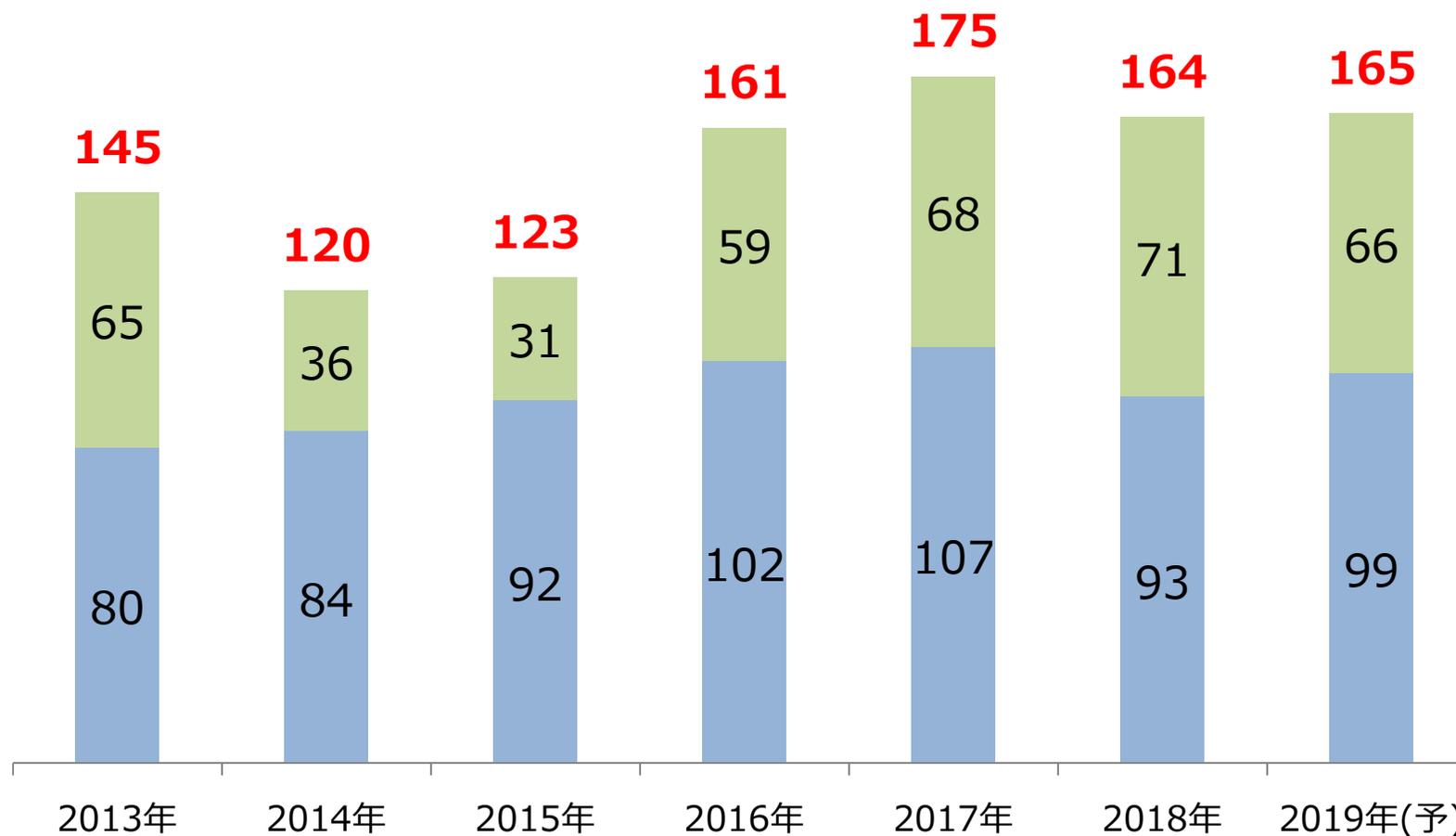
会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
			2018年	2019年予想	2018年	2019年予想	2018年	2019年予想
1 東亜テクノガス	基幹化学品	100	4,940	4,714	634	426	449	306
2 (大分ケミカル)	↓	91.15	14,784	16,453	27	△34	△64	△51
3 トウアコウセイ・シンガポール	↓	100	5,036	2,434	△170	△335	△96	△286
4 (MTエチレンカーボネート)	↓	90	586	592	6	6	5	6
5 MTアクアポリマー	ポリマー・オリゴマー	51	10,640	11,009	480	725	342	507
6 台湾東亜合成	↓	100	1,116	1,134	62	61	46	49
7 東昌化学	↓	51	1,773	1,786	53	36	57	30
8 張家港東亜迪愛生化学	↓	76.12	1,716	1,788	114	104	91	77
9 トウアコウセイ・タイランド	↓	100	0	1,818	△247	42	△285	△108
10 トウアコウセイ・アメリカ	接着材料	100	1,855	2,090	141	119	118	103
11 (アロン包装)	↓	100	277	267	16	1	11	1
12 東亜合成香港	↓	100	317	330	32	35	79	30
13 東亜合成珠海	↓	100	435	613	105	89	77	64
14 アロン化成	樹脂加工	100	27,190	27,997	1,448	1,990	1,061	1,333
15 アロンセイ・タイランド	↓	100	-	-	△11	△103	△11	△104
16 東亜興業	その他	100	991	990	△2	9	2	9
17 東亜ビジネスアソシエ	↓	100	1,950	1,903	106	50	67	35
18 TGコーポレーション	↓	100	12,278	12,112	351	340	239	236
19 (東亜物流)	↓	100	1,448	402	8	2	21	2
20 (四国東亜物流)	↓	70	1,276	1,138	5	2	4	1
21 (北陸東亜物流)	↓	90	152	42	0	1	0	1
単純合計			88,760	89,612	3,158	3,566	2,213	2,241

()の会社は、ほぼ全量が当社との取引

■ 汎用製品

■ 高付加価値製品

単位：億円



化粧品向け吸水性樹脂「ARON NT-Z」発売

当社コア技術である高分子微粒子の制御技術を駆使し、皮膚のシワ隠しや保湿効果に優れた化粧品原料を開発、2018年から販売開始。



偏析粘着剤「アソックMPTシリーズ」発売

粘着剤表面に特定のタッキファイヤーを偏析。高耐熱性、透明性、柔軟性を有し、ポリプロピレン等の難接着材料にも高い粘着性を発揮。家電、自動車内装、衣料用途などで採用。

エステル交換法アロニックス(光硬化型樹脂) 開発

当社独自の触媒により、高純度・低粘度のアクリレートの高純度化に成功。高純度が要求される電子材料や耐久性が求められる自動車材料・塗料向けに開発中。

低誘電性接着フィルム「アロンマイテイ AF700」

5G通信や8Kテレビなど高速大容量通信に対応したFPC用低誘電接着剤を開発。

「シューグー×アロンアルファ」発売開始

靴底補修用として靴補修材大手のShoeGooと共同開発。2018年10月から全国の靴量販店、DIY店、スポーツ用品店で販売中。



アロンアルファ 若者応援WEB広告

青春ストーリー、第2弾「接着ナイン!」第3弾「ツキの神様」も大反響。若者に訴求したアニメ動画プロモーションにより認知度が向上。

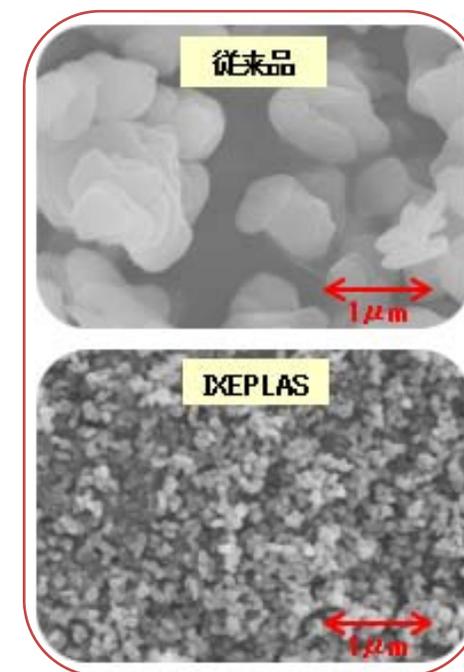
*第1～3弾 You Tube累計視聴回数 2,252万回突破
(2019年1月末時点)



高機能無機材料事業

イオン捕捉剤「IXEPLAS」採用本格化

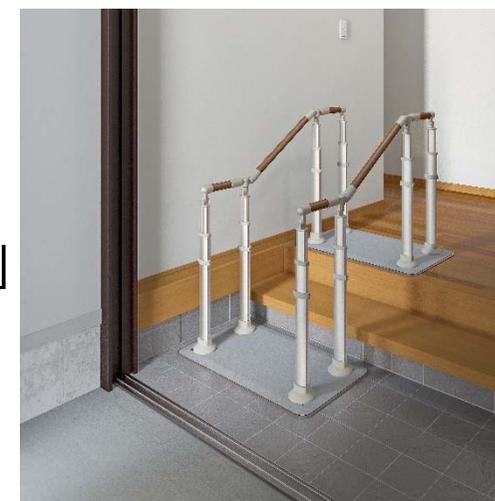
サブミクロンオーダーに微粒子化。従来品より少ない添加量で同等以上のイオン捕捉能力を発揮。FPC等の小型・薄型化に伴う絶縁性低下を抑制するキーマテリアルとして本格採用。



樹脂加工製品事業

「ATTOGRIP AT-Cシリーズ」販売好調

置くだけで簡単設置の手すり。2016年の発売以来移動に不安のある方から高評価。「狭小スペース設置タイプ」「伸縮タイプ」も発売し製品シリーズ化。



トウアゴウセイ・タイランド プロジェクト進捗状況

アクリルポリマー本格稼働開始、エラストマー着工

高機能アクリル[®]ポリマーの生産を2018年8月に開始し、自動車、医薬化粧品、コーティング分野へ展開。エラストマー[®]コンパ[®]ウンド[®]工場は2019年内に操業開始予定。



モビリティ関連製品の開発強化

研究・営業一体で自動車関連材料の開発推進

中期経営計画で掲げる重点戦略3分野のひとつである「モビリティ」関連材料の開発加速を目的に、2019年1月「モビリティ開発プロジェクト」を中心に、研究・営業一体組織を新設。

創立75周年プロジェクト

新企業理念を制定

2019年の創立75周年を機に、新たな企業理念「素材と機能の可能性を追求し、化学の力で新しい幸せをあなたへ届けます。」を制定。未来に向かって当社グループの存在意義、共有すべき価値観を明確化。

化学のオドロキ、
未来のトキメキ。



「Tリーグ」オフィシャルスポンサーに就任

卓球新リーグのオフィシャルスポンサーに就任

CSR活動の強化とスポーツ協賛を通じた当社グループの認知度の向上を目的にTリーグのオフィシャルスポンサーに就任。Tリーグの活動支援を通じ、未来のアスリート育成とスポーツ文化の振興に貢献。



©T.LEAGUE

間接部門の業務効率化推進

グループ内における購買・受注・管理部門の統合

人的リソースをより付加価値の高い業務へシフトし、生産性強化を図る目的でRPA等を導入。更なる業務効率化を推進。

グループ内で購買・受注・財務経理・人事総務等の事務処理業務を統合する計画。2021年に、2017年比 15%の工数削減を目指す。

